

みずほCustomer Desk Report 2024/08/08号(As of 2024/08/07)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	144.91
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	144.77	1.0925	158.11	1.2685	0.6515
SYD-NY High	147.93	1.0936	161.43	1.2734	0.6574
SYD-NY Low	144.35	1.0906	157.81	1.2682	0.6511
NY 5:00 PM	146.68	1.0922	160.35	1.2689	0.6519
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,763.45	▲ 234.21	日本2年債	0.2600%	▲ 0.0200%
NASDAQ	16,195.81	▲ 171.05	日本10年債	0.8800%	▲ 0.0100%
S&P	5,199.50	▲ 40.53	米国2年債	3.9807%	▲ 0.0088%
日経平均	35,089.62	414.16	米国5年債	3.7742%	0.0318%
TOPIX	2,489.21	55.00	米国10年債	3.9517%	0.0512%
ソコ日経先物	34,495.00	775.00	独10年債	2.2710%	0.0910%
ロンドンFT	8,166.88	140.19	英10年債	3.9490%	0.0335%
DAX	17,615.15	260.83	豪10年債	4.0570%	0.0750%
ハンセン指数	16,877.86	230.52	USDJPY 1M Vol	14.71%	0.03%
上海総合	2,869.83	2.55	USDJPY 3M Vol	12.29%	0.17%
NY金	2,432.40	0.80	USDJPY 6M Vol	10.82%	0.15%
WTI	75.23	2.03	USDJPY 1M 25RR	▲ 2.43%	Yen Call Over
CRB指数	273.70	3.55	EURJPY 3M Vol	11.46%	▲ 0.07%
ドルインデックス	103.20	0.23	EURJPY 6M Vol	10.49%	0.15%

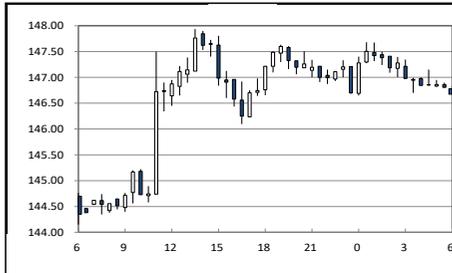
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月7日	10:30	日 内田日銀副総裁 金融経済懇談会出席	「不安定な状況で利上げすることはない」	
	10:30	中 貿易収支	7月 \$84.65b	\$98.35b
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	6月 1.4%	1.0%

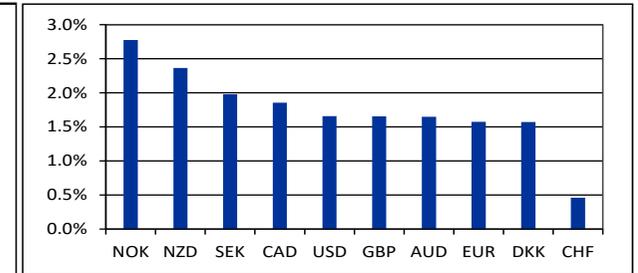
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月7日	08:50	日 日銀主な意見(7/30-31開催分)	-	-
	08:50	日 国際収支:経常収支	6月 ¥1865.0b	¥2849.9b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	3-Aug 240k	240k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-148.00	1.0850-1.1000	159.00-162.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は144円台で取引開始。7月日銀会合でのタカ派姿勢から一転し、内田日銀副総裁による追加利上げに否定的なハト派発言が伝わると147円台後半まで上昇。ただ、勢いは続かず、結局146円台後半でクローズした。本日のドル円は底堅いを予想。昨日の内田副総裁の発言は、足元のバニック相場を受けたハト派旋回であり、日銀が「経済・物価がオントラックの場合に政策金利を引き上げる」としていた点を踏まえると、違和感はない。本欄執筆後8:50に公表される、日銀7月会合の「主な意見」では追加利上げに積極的な内容となっている可能性が高いが、影響は限定的か。一方、日銀の利上げ観測が後退し、米国の景気後退懸念も過剰であったとの見方が広がる中、実需のドル売りを伴いつつ上値を探る展開となろう。米雇用注目が集まっている状況下、米新規失業保険申請にも注意すべきか。

東京	東京時間のドル円は144.77レベルでオープン。金融経済懇談会にて内田日銀副総裁が「金融資本市場が不安定な状況で利上げすることはない」と発言するなどハト派的な内容を受けてドル円は急伸し、一時147円台半ばを付けた。一服後もじり高で推移し147.93まで値を伸ばすも、その後は上値重く推移。結局146.91レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	欧州時間のドル円は146.91レベルでオープン。立ち上がりはやや円高推移で146.10まで下落するも、欧州株が次第に上昇するも相まって円安に転じると今度は147.63まで上昇する場面も、結局147.22レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円台前半でスタート。内田日銀副総裁の「金融市場が不安定な状況で利上げすることはない」との発言が伝わると、日銀の追加利上げ観測が後退し、日経平均株価の堅調な展開を眺めながら、147.93まで上昇。その後は円売り一巡となり、147.22レベルでNYオープン。午前中は146.65まで値を下げる場面もあったが、その後は米株高や米金利の上昇が支えとなり、147.68まで反発する。午後に発表された米10年債の入札は低調な結果となるも、ドル円は反応薄。その後はじり安で推移し、147円台を割り込み、146.68レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半でスタート。1.0906まで下落する場面もあったが、その後欧州株高の展開を受け小幅反発し、1.0925レベルでNYオープン。午前中は1.0936まで上昇する場面も見られたが、その後低下していた米金利が上昇する展開を受け、1.0920付近まで反落し、午前中の上昇分を無くす。午後は1.0920付近を中心とした推移が続き、1.0922レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。